

第 37 回全国環境研究所交流シンポジウム

「全国の環境研究から見える未来」

2022(令和 4)年 2 月 16 日(水)～2 月 17 日(木)

於 オンライン開催

司会: 永島 達也(国立環境研究所 企画部)

2 月 16 日(水)

13:20～13:25 開会挨拶

国立環境研究所 理事長 木本 昌秀

13:25～13:30 来賓挨拶

環境省大臣官房総合政策課 環境研究技術室長 加藤 学

座長: 肱岡 靖明(国立環境研究所)

特別講演

(1) 13:35～14:05 「IPCC 第 6 次評価報告書にみる気候科学の現在地」

○江守 正多(国立環境研究所)

一般発表 <気候変動適応>

(2) 14:05～14:20 「埼玉県における気候変動対策の現状と課題」

○本城 慶多(埼玉県環境科学国際センター)

(3) 14:20～14:35 「中部山岳域における 1981～2015 年の気候変化の詳細解析」

○栗林 正俊(長野県環境保全研究所)

(4) 14:35～14:50 「大阪府内の暑熱環境のモニタリングと影響評価について」

○高井 雄一郎(地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所)

14:50～15:00 (休憩)

<緊急時の有害物質>

座長: 中島 大介(国立環境研究所)

(5) 15:00～15:15 「福岡県保健環境研究所における緊急時環境調査への取り組み」

○古閑 豊和(福岡県保健環境研究所)

(6) 15:15～15:30 「緊急時におけるリスク管理のための化学物質調査手法の活用」

○加藤 みか(公益財団法人東京都環境公社 東京都環境科学研究所)

(7) 15:30～15:45 「緊急時環境調査手法の開発と実装に向けた取り組み」

○中島 大介(国立環境研究所)

15:45～15:55 (休憩)

<プラスチック>

座長: 鈴木 剛(国立環境研究所)

(8) 15:55～16:10 「マイクロプラスチックに吸着した多環芳香族炭化水素類の光分解反応」

○野呂 和嗣(地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所)

- (9) 16:10～16:25 「下水および下水汚泥処理工程におけるマイクロプラスチックの挙動」
○中尾 賢志(大阪市立環境科学研究センター)
- (10) 16:25～16:40 「福岡県内河川におけるマイクロプラスチック調査」
○古賀 智子(福岡県保健環境研究所)
- (11) 16:40～16:55 「廃プラスチックのフロー把握等に基づく処理体制の構築に向けた調査研究
について」
○小野 理(北海道立総合研究機構 エネルギー・環境・地質研究所)
- (12) 16:55～17:10 「河川プラスチックごみの排出実態把握と排出抑制対策に資する研究～進捗状況
と今後の課題について」
○鈴木 剛(国立環境研究所)

2月17日(木)

<大気汚染> 座長:菅田 誠治(国立環境研究所)

- (13) 9:15～9:30 「AI等を利用したオキシダント濃度予測への取り組み」
○小田 祐一(静岡県環境衛生科学研究所)
- (14) 9:30～9:45 「地方環境研究所での大気シミュレーション活用について」
○山村 由貴(福岡県保健環境研究所)
- (15) 9:45～10:00 「降雨時の市街地排水中の硝酸イオン濃度の季節変化」
○横山 新紀(千葉県環境研究センター)
- (16) 10:00～10:15 「大気汚染シミュレーション支援システムの開発と今後」
○菅田 誠治(国立環境研究所)

10:15～10:25 (休憩)

<海域・河川・湖沼・閉鎖的水域> 座長:牧 秀明(国立環境研究所)

- (17) 10:25～10:40 「環境DNAを用いた魚類調査の実施とその活用について」
○長谷部 勇太(神奈川県環境科学センター)
- (18) 10:40～10:55 「大阪湾海水の栄養塩と有機物分解速度について」
○鈴木 元治(公益財団法人ひょうご環境創造協会 兵庫県環境研究センター)
- (19) 10:55～11:10 「干潟における有機物分解と窒素の遊離」
○宮崎 一(公益財団法人ひょうご環境創造協会 兵庫県環境研究センター)
- (20) 11:10～11:25 「降雨時の湿地におけるCOD、窒素、リンの浄化機能」
○横山 智子(千葉県環境研究センター)
- (21) 11:25～11:40 「サンゴ礁海域における赤土等堆積状況と生物の関係」
○座間味 佳孝(沖縄県衛生環境研究所)
- (22) 11:40～11:55 「琵琶湖における易分解性・難分解性溶存有機物動態について」
○霜鳥 孝一(国立環境研究所)

11:55～12:00 閉会挨拶

国立環境研究所 理事 森口 祐一